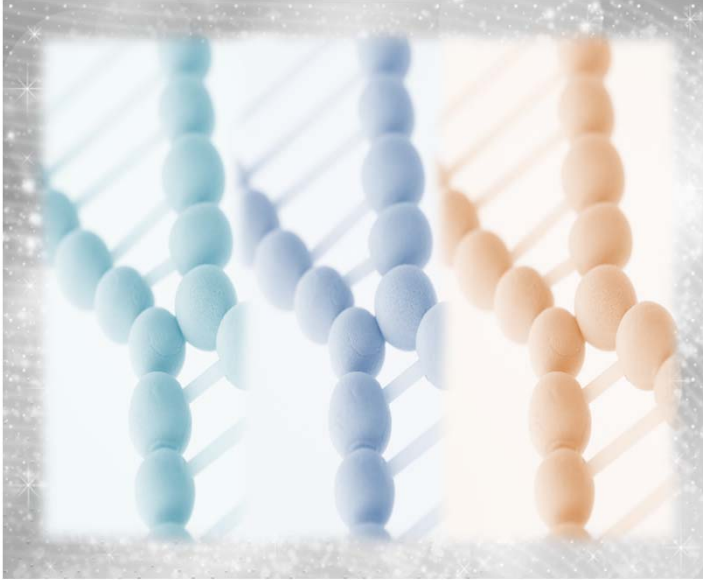


Global Design Lecture & Seminar



Global Design Lecture 14:55-15:50

「生物科学が変わる」

長洲毅志（大学院 情報理工学系研究科ソーシャルICTセンター GCL、NBDC 研究総括、エーザイ（株）EPCS顧問）

…ヒトゲノムが解読されても、ヒトの多様な疾病の理解と克服には新たな学問と技術が必要であった。そして近年になりその重要な3つの基盤技術が登場する。NGS、iPS及びゲノム編集である。（中略）さらに第4の基盤技術であるイメージングも大きく変わりつつある。まさに新しい生物科学の誕生である。応用を見据えたヒトの生物学だけでなく基礎生物学の分野も変化しており、これらを融合することで新しい生物学は飛躍的な発展を遂げるであろう。その中核で重要な役割を担うのがインフォマティクスなのである。

Global Design Seminar 15:50-16:40

「IoT2.0～脳情報科学応用としてIoT」

加納敏行（NEC中央研究所 主席技術主幹）

2015年、1999年に提唱されたIoTがようやくブレイクを始める。インターネットに全てのモノが繋がるという抽象的な概念がビッグデータの登場によりようやく産業や社会での活用方法が見えてきた。本講義では世界におけるIoT活用の動向とIoTの将来を予測する。

5月20日（水） 14:55～16:40
工学部2号館3階 電気系会議室 1AB

GCLプロジェクトインキュベーション機構 (pim@gcl.i.u-tokyo.ac.jp)